

1 派遣期日 平成29年11月7日（火）

2 研修先 船橋市立小室中学校
〒270-1471 千葉県船橋市小室町898
<http://www.city.funabashi.lg.jp/gakkou/0002/komuro-j/index.html>

3 研修内容

(1) 研究主題

「確かな学力の育成を目指した小中一貫教育における教育活動の工夫」
～「わかる授業」の実践を通して～

小室小・中学校では「わかる授業」を以下のように定義している。

- ①児童生徒が、教師の問いかけやクラスメートの発言内容に対してつぶやいたり、何らかの形で自分の考えや思っていることを表明しようとしたりする意欲をもてる授業。
- ②学習者同士の交流を通して、一人一人の児童生徒が何らかの「気づき」（＝腑に落ちること）が得られる授業。
- ③児童生徒の思考過程がわかる板書、ノートになっている授業。
- ④学習過程が「学習問題（課題）の把握→個人の活動→2人以上の学習活動（学び合い学習）→まとめ」となる授業。

(2) リトルティーチャーについて

算数・数学科と外国語活動・英語科においてリトルティーチャーを取り入れ、児童生徒の学習意欲を高めた。このリトルティーチャーとは、児童生徒同士が学校種の枠を超えて交流するというものである。とりわけ中学生は、人に教える事の喜びや楽しさ、難しさを学ぶとともに、その教科についての理解を深めることができる。さらに、どのように教えれば相手が理解してくれるかを学ぶ機会にもなる。小学生にとっても、身近な中学生の指導は受け入れやすく、親しみや自分の目指すべき姿について憧れをもつことができる。

| | 算数・数学科 | 外国語活動・英語科 |
|--------|--|--|
| 平成27年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・7月の2日間、中学2年生の生徒が小学1, 2, 3年生の夏期講習に参加。 (計算問題, 時計の読み方, 長さの問題, 文章問題) | <ul style="list-style-type: none"> ・中学3年生が小学5年生の外国語活動の授業に参加。 (ALTとの会話練習, 単語練習) |
| 平成28年度 | | <ul style="list-style-type: none"> ・中学1年生が小学5年生の外国語活動の授業に参加。 (会話練習, 英文を書く練習) |
| 平成29年度 | | <ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生が小学5年生の外国語活動の授業に参加。 (英文を書く練習) |

(3) 小室小・中学校の理科で実践・継続してきた取り組み

小室小・中学校の理科では、「わかる授業」を実践・継続するために、小中学校で連携した取り組みをしてきた。

(ア) 実験の予想や実験結果を話し合うホワイトボードやICTを活用

学習者同士の交流を通して、一人一人の児童生徒らが何らかの「気づき」を得られたり、それにより児童生徒らの学習意欲が向上したりするような「わかる授業」を実践し、子供たちに「わかった」という成就感を味わわせることができるような授業づくりをしていくことが大切だ。特に理科の学習では、グループで協力して実験に取り組む場面や、その結果についてグループ内で話し合う場面など、児童生徒同士が交流

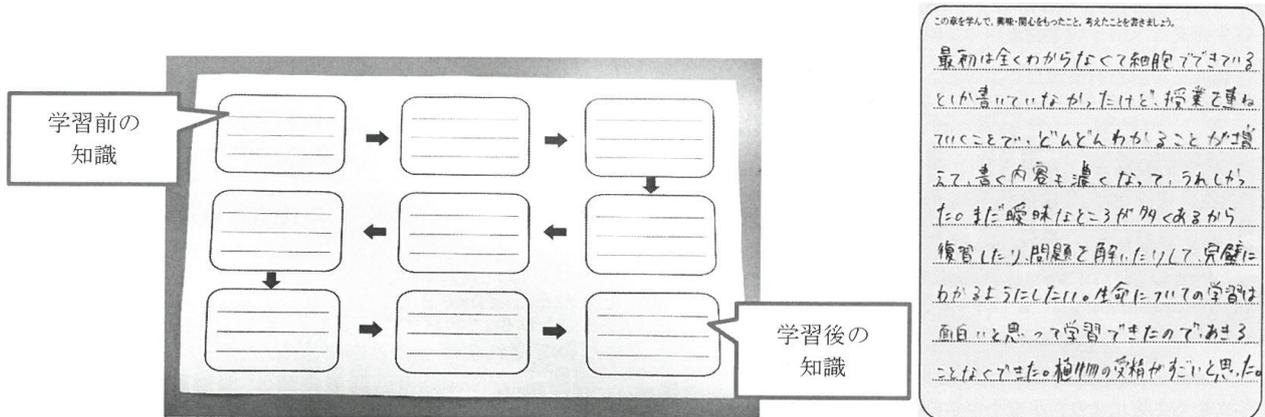
する中で「気づき」を得られる機会が多いと思われる。

実験の予想や実験結果を話し合う場面で使用するワークシートや、グループの意見を効果的に表現させるためのホワイトボードを用意したり、お互いの考えを共有できるようにICTを活用したりすることで児童生徒の活動を活発にしていく。

(イ) 一枚ポートフォリオ評価 (OPPA: One Page Portfolio Assessment) の活用

単元学習前と単元学習後で自分自身の変容を「自己評価」させることで、自己の学びを適切に振り返り、学習の価値づけを行うことができるようにしていく。日々の学習で何を学んだのかを再確認し、どのように自分の考えが変わっていくのかを実感することで、確実に知識を積み重ねているという自信にもつながることだろう。

また、OPPAに書かれた内容を基に一人一人の児童生徒が何らかの気づきを得られたかを知ることで、「わかる授業」が実践できたかを判断する。



(4) 小中合同ステップアップテストについて

小中合同ステップアップテストは、本研究における量的研究の中核となる取組である。

このテストはその名の通り、小中学校が合同で取り組むテストであり、船橋市立小室小学校・中学校独自の取組である。

| | |
|------------|--|
| 〔実施時期〕 | 半期に1回(6月, 12月) |
| 〔受験対象〕 | 小学校第5学年~中学校第3学年の児童生徒全員 |
| 〔試験科目及び内容〕 | 国語(小学校第1学年~中学校第3学年における常用漢字の書き, 読み), 算数・数学(小学校第1学年~中学校第3学年における加減乗除を基本とする計算) |
| 〔配点〕 | 各教科100点 |
| 〔問題数〕 | 各教科100問 |
| 〔試験時間〕 | 2教科で50分 |

本テストの実施に当たり、国語、算数・数学の問題は全て同一とした。同じ問題でテストを受け続けることにより児童生徒銘々のテスト結果や解答内容(誤答箇所, 記述内容等)の変容をつかむことができるからである。

本テストの結果からは、二つのことがわかった。

- ① 学年が上がれば上がるほど国語、算数・数学のいずれも総得点の平均が高くなった。
- ② 総じて国語、算数・数学のいずれも本テストの回数を重ねるたびに平均点が上昇した。まさに本テストの名の如く「ステップアップ」していると言える結果となった。

4 感想

小室小・中学校における、小中一貫教育としての様々な活動や成果を知ることができた。活動内容は、すぐにも授業に取り入れられる内容から、長い時間をかけて学校全体で考えていかななくては実現できないものまで様々であったが、どれも貴重な研究報告であった。短い時間ではあったが、今回の研修における貴重な経験を、現在所属している中里小・中学校での教育や、これからの教員人生に役立てていきたい。